



4・5月号

発行所  
水戸市千波町1918番地  
茨城県総合福祉会館内  
公益財団法人茨城県消防協会  
編集発行人  
消防協会長 葉梨 衛  
印刷所  
(有)堀口印刷  
1部 15円  
(購読料は年会費に含まれています)

# 平成二十八年年度 第一回定時理事会の開催

平成二十八年年度公益財団法人茨城県消防協会第一回定時理事会が五月六日(金)に茨城県総合福祉会館において開催されました。

理事会はまず、会議定足数の確認(理事事数三十一名のところ出席者二十七名で、半数を超え会議が成立)が行われ、その後、葉梨会長から主催者の挨拶を頂きました。ご臨席頂いたご来賓は次の方々です。

- ・ 県消防安全課長 篠原 徳史 様
- ・ 県立消防学校長 飛田 剛利 様

続いて議事は、葉梨会長が議長となり、議案が審議され、それぞれ原案どおり承認・可決されました。

## 【第一回定時理事会議案】

- 第一号議案 平成二十七年事業報告
- 第二号議案 平成二十七年会計決算
- 第三号議案 評議員会の招集

なお、理事会終了後に、平成二十七年中に退団となられた消防団長に対し、



退職消防団長へ感謝状贈呈

感謝状が表示された記念楯が贈呈されました。  
表彰された前消防団長の皆様方には、長い間本当にご苦勞様でした。改めまして感謝の意を表します。

# 平成二十八年 春の叙勲・褒章

平成二十八年春の叙勲・褒章受章者が四月二十九日に総務省から発令されました。

本県からは、春の叙勲が十二名、第二十六回危険業務従事者叙勲が十六名、藍綬褒章が四名、合計三十二名の皆様が受章の栄に浴されました。

勲記・勲章は、五月九日(月)、県庁において橋本知事から伝達されました。

国(総務省消防庁)の伝達式は、春の叙勲が五月十六日「ニッショーホール」、危険業務従事者叙勲が五月十一日「霞ヶ関の合同庁舎第二号館」、春の褒章が五月十七日「スクワール麹町」においてそれぞれ実施され、同日の午後には、皇居拜謁も執り行われました。

受章者の皆様の永年にわたるご尽力とご功績に対し、心からの感謝と敬意を表します。

以下、順不同にて受章者の略歴並びに国の伝達式の様子をご紹介します。  
※( )は発令日現在の年齢

## 《春の叙勲》



○石井 啓一(六十八)

元 常陸太田市消防団 副団長

消防歴 四十三年

常陸太田市在住

○岡野 清右エ門(七十)

元 笠間市消防団 団長

消防歴 四十年三月

笠間市在住



春の叙勲伝達式(ニッショーホール)

○沼尻 隆志(七十)

元 常総市消防団 団長  
消防歴 四十五年十月半  
常総市在住

○山内 直行(六十五)

元 石岡市消防団 団長  
消防歴 四十一年十一月  
石岡市在住



○上野 芳男(六十五)

元 桜川市消防団 副団長  
消防歴 四十一年七月  
桜川市在住

○江戸 正義(六十九)

元 つくば市消防団 副団長  
消防歴 四十一年  
つくば市在住

○木村 一雄(八十一)

元 緒川村消防団 副分団長  
消防歴 三十九年十一月  
常陸大宮市在住

○柴田 勝男(七十八)

元 美野里町消防団 分団長  
消防歴 四十一年二月  
小美玉市在住

○竹中 邦夫(七十五)

元 龍ヶ崎市消防団 副団長  
消防歴 五十五年四月半  
龍ヶ崎市在住

○土屋 雄(七十)

元 かずみがうら市消防団 副団長  
消防歴 三十四年五月半  
かずみがうら市在住

○廣田 泰男(七十三)

元 神栖市消防団 副団長  
消防歴 三十八年十一月  
神栖市在住

○前野 貞夫(八十一)

元 水戸市消防団 分団長  
消防歴 三十九年二月  
水戸市在住



《第二十六回 危険業務従事者叙勲》

○安島 壽廣(六十五)

元 大子町 消防司令長  
消防歴 四十一年十一月  
大子町在住

○和泉 良幸(六十五)

元 鹿島地方 消防監  
消防歴 四十二年  
鹿嶋市在住

○大枝 末司(六十五)

元 小美玉市 消防司令長  
消防歴 四十年四月  
小美玉市在住

○菅谷 幸夫(六十五)

元 水戸市 消防監  
消防歴 四十年十月半  
笠間市在住

○杉山 豊(六十五)

元 笠間市 消防監  
消防歴 四十一年九月  
笠間市在住

○鈴木 啓一(六十五)

元 筑西広域 消防監  
消防歴 四十二年  
筑西市在住

○住谷 明雄(六十五)

元 ひたちなか市 消防正監  
消防歴 四十二年  
ひたちなか市在住

○関口 泰司(七十九)

元 稲敷広域 消防司令長  
消防歴 三十四年六月  
龍ヶ崎市在住

○高星 輝明(六十六)

元 北茨城市 消防監  
消防歴 四十一年  
北茨城市在住

○永田 榮(六十九)

元 取手市 消防正監  
消防歴 三十五年六月  
つくばみらい市在住

○橋本 茂雄(六十六)

元 常総広域 消防監  
消防歴 三十七年  
つくばみらい市在住

○平野 保雄(六十五)

元 那珂市 消防監  
消防歴 四十二年  
那珂市在住

○山田 恭(六十五)

元 石岡市 消防監  
消防歴 四十一年九月  
石岡市在住



○石濱 敏夫(六十九)

元 西南広域 消防司令長  
消防歴 四十年六月  
下妻市在住

○江幡 定男(七十一)

元 日立市 消防司令長  
消防歴 四十年  
日立市在住

○丹能 建(七十)

元 高萩・日立 消防司令  
消防歴 四十一年  
高萩市在住



危険業務従事者叙勲伝達式(合同庁舎第二号館)



○飯田 一男(六十五)

現 坂東市消防団 団長  
消防歴 三十三年一月  
坂東市在住

○宇田川 仁一郎(六十七)

現 土浦市消防団 団長  
消防歴 四十一年四月  
土浦市在住

○佐久間 隆一(六十六)

現 取手市消防団 団長  
消防歴 四十一年一月  
取手市在住

○澤辺 稔(六十九)

現 つくば市消防団 団長  
消防歴 四十一年四月  
つくば市在住



藍綬褒章伝達式 (スクワール麹町)

### 県立消防学校 初任科入校式

今年度の消防職員初任教育は昨年度に引き続き二期制となり、まず前期の第一期入校式が、四月十一日(月)午前十時から県立消防学校において、県内二十三消防本部から総勢百二十四名の学生を迎え挙行されました。  
式典は、入校生紹介、学生宣誓に続き、式辞(飛田学校長)、知事告辞(篠原県消防安全課長)、続いて県消防協会長の来賓祝辞がありました。



祝辞を述べる葉梨会長

今後、消防学校において、心身の鍛錬と消防職員として必要な知識・技能を習得し、半年後には、新時代にふさわしい消防の担い手として巣立っていくことを祈念します。

### 日本消防協会主催 消防団幹部候補 中央特別研修

日本消防協会主催による第十五回消防団幹部候補中央特別研修が、次の日程で実施され、ひたちなか市、日立市、常総市及びつくばみらい市の消防団員が参加しました。

○男性消防団員の部  
平成二十八年二月三日～五日  
(二泊三日)

(参加者)

ひたちなか市消防団 団員 小石川正芳

日立市消防団 団員 千葉直樹

常総市消防団 分団長 杉田達也

○女性消防団員の部

平成二十八年二月十七日～十九日  
(二泊三日)

(参加者)

つくばみらい市消防団 団員 野元 亜耶

今回の研修に本県から参加された方々を代表して、男性消防団員の部の小石川正芳さんと女性消防団員の部の野元亜耶さんからの寄稿文をご紹介します。



### 「第十五回消防団幹部候補 中央特別研修」に参加して



ひたちなか市消防団

団員 小石川 正芳

平成二十八年二月三日から五日までの三日間、日本消防協会において全国各地から約百三十名の消防団員が集まり、第十五回消防団幹部候補中央特別研修が開催されました。

私は消防団に入団してまだ三年であり、「幹部候補中央特別研修」を受けるのに相応しくないのでないかと不安でした。研修初日の開講式を終えて、日本消防協会の秋本会長の講話は聴手を惹きつける話であり、いよいよ始まるという身が引き締まる思いでありました。

まずは静岡大学防災センターの牛山教授から昨年の関東・東北豪雨をはじめ、最近の豪雨災害事例の講義を受けました。次に、東京都大島町消防本部の羽根次長から、一昨年の台風二十六号による大島町土砂災害における消防団員の活動内容について、当時の状況や実体験を交えて講義を受けました。その他にも消防や防災についての有識者から講義を受けて、消防団の重要性と災害活動の課題について学ぶことができました。

その後、研修生は十班のグループに分かれ、各テーマに沿って課題討議を実施しました。私たちのテーマは「若年層の団員確保対策について」でした。全国的に消防団員が減少している中、若年層の

「団員確保対策について」でした。全国的に消防団員が減少している中、若年層の団員確保のために何が出来るのか。また、何をしなくてはならないのか。都市部でも地方でもみんな同じような課題があり、団員確保について苦労しているようでした。しかし、グループで討論してみると、各地域で様々な方法を駆使して若年層の団員確保のために努力している事が分かりました。

初めて同じ志を持つメンバーと消防団に対して熱く語ることが出来、思いつかなかった実践してみたいアイデアもたくさん出てきました。

研修が終了し、三日間を共にしたグループのメンバーとは現在もLineやFacebook等で親交が続いております。各地の消防団幹部候補と仲間になれたことは自分にとって大きな財産となりました。今後はこの研修の成果を地域のために役立てていきたいと思えます。

### 「第十五回消防団幹部候補中央特別研修」に参加して



つくばみらい市消防団

団員 野元 亜耶

平成二十八年二月十七日から三日間、都内の虎ノ門で第十五回消防団幹部候補中央特別研修に参加させていただきました。当日は全国から代表が集まり、地域の特色ある活動内容をお互い披露し、大変有意義な時間を過ごすことができました。

今回の研修で特に印象に残り、考えさせられたことについて三つ紹介します。一つ目は、いかに消防団に対する認識を変えられるかです。危険が伴う上、土日や夜も訓練に出てしまうと拒絶する負の連鎖があるように感じます。この状況を打破するため、実際の操法訓練の様子を運動会や地域の行事の中で披露し、地域の方の目に留まる回数を増やすこと、地域を守ってくれている存在であると公の場で紹介するなど、カッコいいイメージを定着させることが大事だと感じました。

欧米では消防団に加入すること自体が、一人前のステータスという気概があると講義で学びました。「自分のまちは自分で守る」という誇りをもって活動できるよう、子供が憧れる消防団のイメージを創造していきたいです。

二つ目は、女性消防団の活躍の幅についてです。今までは私たちができることは広報だけという漠然とした固定概念がありました。しかし、土嚢の積み方、ホースの使い方など、知識を蓄えていけば、有事の際にまわりの人に指示ができます。仮に腕力が足りなくても、まわりにいる人達の力を最大限に発揮させる動力を目指せばいいのだと気づきました。

ほかに、火災現場では規制線を張る仕事や出火させてしまった家族へのケア、消火活動に従事する男性消防団の写真の記録など、次の目標となる活動例を聞きました。今後も男女共同参画社会にならって活動の幅を広げていきたいです。

三つ目は、限りある時間・資料・人員を使い、いかに効率的に活動していくかということですが、

団員は仕事を持ちながら消防活動に従事しているため、みんなが集まることが

難しいところがあります。一から何かを作り出すのではなく、すでに市や消防署で持っている素材や、地域の集まりやお祭りを活用し、いかに既存の風土文化にとけこんでいけるかがポイントであると結論を出しました。団員の負担を減らすことで長期的持続を目指し、活動計画を立てていきたいと思えます。

最後になりますが、このような機会を与えていただいた方々に感謝をさせていただきます。本当にありがとうございました。

新聞・テレビで注目!

初期消火に! **サット119!!**

**安心** 投げるだけで使える!  
…子ども・高齢者・誰でも簡単…

**軽い** 500mlペットボトルサイズでラクラク

**簡単** そのまま火元に投げるだけ!

安全・安心・便利の  
**クリックラ借楽園** TEL:029-306-7746  
E-mail:crecla-kairaku@abeam.ocn.ne.jp

オリジナルTシャツ  
アポロキャップ  
徽章類  
消防グッズ各種

茨城県マスコット ハッスル黄門  
ハッスル黄門ストラップ取扱店

**水戸スポーツ株式会社**  
水戸市袴塚1-1-2  
TEL029[224]3450 FAX029[224]3430

**トーハツ** 小型消防ポンプ

充実のVシリーズ

V75ESからV10Fまで  
豊富な機種でお客さまのご要望にお応えいたします。

消防ポンプ自動車 消防用ホース  
消火器 消防服装  
消防資機材用品一式

茨城県代理店  
**トキワ産業株式会社**  
水戸市三の丸3丁目7番1号  
TEL.029(224)3324代 FAX.029(224)3360

**Panasonic**

自動火災報知設備  
非常電源設備  
自家発電設備  
CVCF設備  
FAX、パソコン

パナソニック株式会社 特機商品代理店  
**株式会社入江電機工業所**

本社 水戸市大工町2丁目3番23号  
TEL.029-224-4614(代表)  
FAX.029-224-4613

千波営業所 水戸市千波町海道付2027番地  
TEL.029-241-3636(代表)  
FAX.029-244-0540

土浦営業所 土浦市並木1丁目2番20号  
TEL.029-821-8498(代表)  
FAX.029-822-6575

全国シェアNo.1の消防車メーカー  
**(株)モリタの各種消防自動車**  
常に最新技術を反映して様々な災害現場で活躍する消防車を制作します。

その他の取扱品目  
小型動力消防ポンプ・消防用ホース  
救助資機材・潜水機材・消防用被服  
防災用品・消防用品・消防資機材

茨城県代理店  
**有限会社 鈴機**

〒315-0014 石岡市国府5-2-25  
TEL:0299-22-3010 FAX:0299-22-5846